

専門分野

基礎看護学（講義 11 単位・実習 3 単位）

1. 基礎看護学の考え方

基礎看護学は看護を学ぶものにとって最初に学習する専門科目となる。看護における主要な概念である、人間、環境、健康、看護を学ぶことからはじめ、科学的根拠に基づいた安全、安楽な技術を提供できるよう段階をおって学ぶ。

少子・超高齢社会への移行が急速に進む中、看護に求められるニーズも変化し、看護の対象の多様性、複雑性に対応する力が求められている。看護師として倫理的に判断し、行動できるよう、コミュニケーション、フィジカルアセスメントを強化し適切な看護を展開できる方法を身につけ、専門領域での学びにつなげられる内容構成となっている。基礎看護学は、看護を学ぶ上で重要な基盤となる。

2. 目的

看護の対象及び健康、看護の機能・役割について理解し、看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ。

3. 目標

- 1) 看護学の基本的な概念である「人間・環境・健康・看護」がわかる。
- 2) 看護の機能と役割がわかる。
- 3) 日常生活援助技術を身につける。
- 4) 診療の補助技術を身につける。
- 5) 科学的根拠に基づく看護展開方法がわかる。
- 6) 健康状態に応じた看護実践の基礎を学ぶ。
- 7) 看護を探究する姿勢を身につける。